

## 平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人釧路百葉福祉会

## 社会福祉事業

## (1)総括

平成27年度は子ども子育て新制度が始まり、就労支援の保護者や短時間就労の保護者の園児も入園可能になり入園希望者は増えている。しかし、2歳児クラスで長時間の預かり保育を実施している幼稚園に転園する園児が3名いて、以上児の在籍が年々減る傾向がある。また、ひとり親家庭や精神疾患を抱えている保護者も増え、保護者支援なども課題になる。職員は経験や研修の積み重ねの中で着実に力をつけ、保育に生かすことが出来てきている。しかし、年度途中での退職者や病休者もいて落ち着いたクラスもあり、園全体で課題を共有し乗り越えていく必要性を感じた。今年度は大きな事故はなく、ヒヤリハットの提出も昨年に比べて減り、研修でのヒヤリハットの振り返りや考察が職員に意識づいていることを感じる。

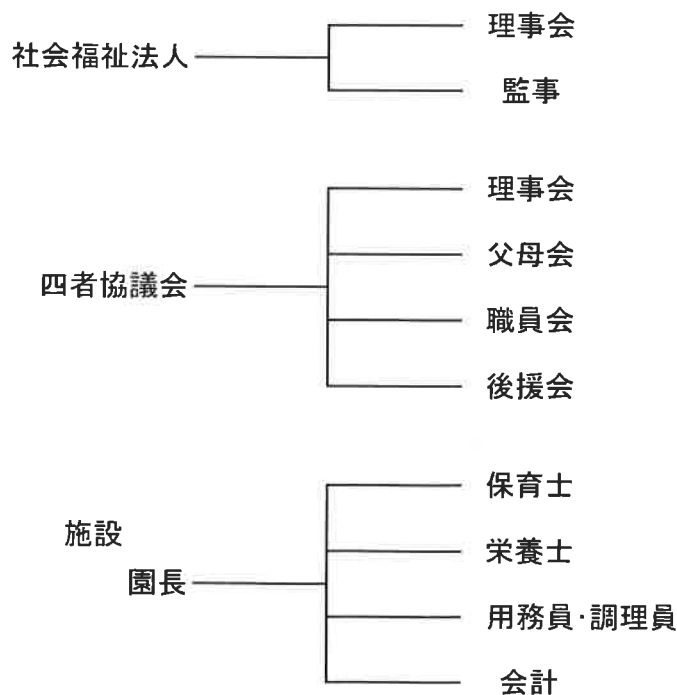
## (2)年間利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
69人	72人	72人	72人	71人	71人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
72人	72人	72人	71人	72人	72人

## (3)職種別職員数

園長	保育士	栄養士	パート
1人	10人	1人	17人

## (4)組織体制



## (5)年間行事計画

別紙のとおり

# 27年度 行事等実施報告書

月	行		職員研修		災害内容	健康管理内容	衛生管理内容	職員会議内容
	内容	感想	内容	内容				
4月	入園式	新入園児15名を含む69名の園児でスタート。1歳児3月生まれ2人を0歳と共に保育をする。	子ども子育て新制度の公定価格(減地) (園内)・わらべ歌・集団作り	(別紙)			救急用品の点検	定例職員給食会議
5月	端午の節句 親の会総会 ひのきや公演 親子遠足	5月になり、子ども達も保育園に慣れ楽しく過ごせるようになる。親子遠足の後、親の会でテラスのペンキ塗り駐車場のライン埋き、畑起しを行う。	(園内)・ヒヤリハット考察 ・遊びの実践検討		28日 園医健診	環境整備		定例職員・クラス会議 以上児会議 給食会議
6月	保育園まつり 春風コンサート	澤柳栄士さんが保育研究大会で実践発表をする。	北海道保育研究大会(沢柳・金森) 保協主任研修(玉井) 私保連実技研修(8h職員)		予防接種確認 18日 歯科検診	毛布クリーニング		定例職員・クラス会議 未満児会議・給食会議 夏まつり実行委員会 以上児会議 未満児会議・給食会議
7月	年長キャンパ 夏まつり	年長組のキャンパ、卒園児の保護者も、ボランティアとして参加する。川遊びや天狗との出合い、キャンパアツアイヤーと一日遊びつくした子ども達であった。	全道合研(相馬、坂本)、山木)					定例職員 未満児会議・給食会議
8月	七夕 交通安全教室 トランプット演奏会 星空観測会	親の会の主催で星空観測会を行う。治水の保護者にも呼びかけ100名近くが参加した。良い交流の場になった。	救命救急研修(山木)					定例職員 運動会実行委員会 給食会議
9月	運動会	雨天のため運動会は体育館で行う。体育館ではあったが子ども達は伸び伸びと競技していた。	中堅職員研修(酒井、阿部) 園長主任園内研修(金森、玉井) 管内連協救命救急講習(本多、坂本)			非常袋の点検		定例職員・クラス会議 運動会実行委員会 給食会議
10月	以上児クッキング 合同避難訓練 落ち葉ひろい遠足	大津波を想定した商業高校へ避難する訓練を0才を含む全園児、職員で行う。 4. 5歳児美原の遊歩道へ落ちひろい遠足に行く。両日ともお天気よく楽しむことが出来た。	道東三地区合同園長会(金森) 釧路市保育協議会(8H職員) 保問研全道大会(金森・本多・澤柳) 私保連研修(8H職員) 昭和・治水合同学習会(8H職員)		29日 園医健診			定例職員・クラス会議 未満児会議・給食会議 運動会実行委員会(反省)
11月	やきいも大会 信金の展示 消防自衛団交流	地域の方や治水の子ども達も多数参加し、みんなで焼き芋を食べ、秋の一日を楽しむことが出来た。	防災学習会(金森) コーチャング研修(相馬)		ノロウイルス、インフルエンザの対応について確認する。			職員会議・クラス会議 おたのしみ会実行委員会
12月	おたのしみ会 もちつき クリスマス会	未満児はわらべうたや離れ合い遊びで日頃の様子を、3、4歳はこつこつで遊んでいる姿を、年長は劇本作る過程も含めて楽しみ成長を保護者に見せることが出来た。			インフルエンザ予防接種 職員健診・腰痛検査	大掃除		定例職員 未満児会議 給食会議
1月	お正月遊び 交通安全教室	お正月遊びは羽子板や竹とんぼ福笑いの伝承遊びで楽しんだ			インフルエンザの登園基準 提示			定例職員 以上児会議・給食会議 クラス会議・給食会議
2月	節分 劇壇風の子観劇 SL遠足	年長児がSLに乗り、塘路まで行き郷土資料館を見学。途中クラフトに立ち寄りハンコを押しもらう。	改正個人情報保護法・マイナンバー 報への対応実務研究会(菊地)					定例職員 卒園式実行委員会 クラス会議・給食会議
3月	ひなまつり 卒園式 お別れ進級会	一年だけの担任であったが、卒園式の荒馬もリズムも成長を感じる素晴らしい物であった。			急性胃腸炎が0,1才を中心に流行する。ピューラック クスで消毒する。	お部屋の引越		定例職員 新年度に向けて8H会議 給食会議

避難訓練計画・実施表

平成27年度

計画		実施		計画		実施							
月	訓練内容	実施日	避難場所	訓練内容	訓練参加者	反省	月	訓練内容	実施日	避難場所	訓練内容	訓練参加者	反省
4	お話し「お・か・し・も」の約束 非常ベルの音を聞く	17日	ホール	おかしもの約束確認 非常ベルの音を聞く 担任の側に集まる 年長児が見本を見せる。	園児39名 職員9名 合計48名	絵を使ってお・か・し・もの確認。非常ベルの音を聞き、年長児がテラスから避難をした、他のテラス又は担任と避難口の確認をした。	10	総合避難訓練	21日	治水公園	給食室より出火。消火・通報、治水公園への避難訓練を行なう。消防隊員より話を聞き、消防車見学を行なう。	園児56名 職員13名 合計69名	非常ベルと放送の音がかり、避難の指示が2階に達らず避難が遅れた。マニュアル通りに行なうのではなく、危険を感じてどう動くかという訓練の大切さを学んだ。
5	火災避難訓練 通報訓練	29日	テラス 治水公園	ホールで遊んでいることを想定しての訓練。 各クラス、1階のテラスより避難をする。	園児47名 職員7名 合計54名	どのように避難をするのかを丁寧に伝えることを目的とした。2歳児はまだ体制が難しく、テラスへの避難、3・4・5・祭事は治水公園へ避難した。	11	火災避難訓練 消火訓練	27日	各保育室	火災の知らせを聞き、各保育室から、兼早く園舎外への避難をする。	園児52名 職員10名 合計62名	先月の反省を元に、放送を使わず、火災発生者が2階へ火災発生を伝えた。その合図でそれ出るまでの訓練を行なった。2階は、中ホールまでの避難とした。
6	地震・火災避難訓練 消火訓練	26日	各クラス	各部屋で遊んでいる時に地震発生。安全なところへ避難。避難経路を確認する。火災が発生し、治水公園へ避難。	園児50名 職員10名 合計60名	各クラスとも頭を守りテラスの下へ静かに避難ができていた。その後、外へ避難。2階は外階段が1階テラスなので下へ移動。避難経路としては見直す必要がある。	12	地震避難訓練	18日	各保育室	朝の時間帯での訓練を行なう。合同体制での職員の手を動かすことを確認する。	園児35名 職員7名 合計42名	2・3歳児は各部屋、4・5歳は合同で2階男児室にいたが、人数が少なかつたため全員テラスの下に避難ができた。避難経路は確保できたが、ホールの窓が開かない状態だった。毎朝の点検をおこなうように気をつけていく。
7	地震・津波避難訓練	31日	治水公園 協立病院	3・4歳児は2階清り台、2・5歳児は各テラスより避難する。全体では治水公園へ避難し、年長児のみ協立病院4階への避難訓練を行なう。	園児48名 職員12名 合計60名	2階は、避難用に長靴を購入したので、くつも履きやすくなり移動がスムーズだった。病院の中に入るまでには駐車場があるのでもともとを検討する必要がある。	1	火災避難訓練 消火訓練	29日	治水公園	火災の知らせを聞き、各保育室から、兼早く園舎外への避難をする。防寒対策、避難経路の確認をしっかりと行う。	園児50名 職員12名 合計62名	2階からの避難は危険なので、1階からの避難をする。ホールが混雑したり、手袋をはかないテラスもあった。園舎の外に出れば安全なので、慌てずに防犯対策をしっかりと行って、落ち着いて避難ができるようにしたい。
8	火災避難訓練 消火訓練	28日	治水公園	給食室より火災発生。1階と2階から治水公園まで避難をする。給食室では消化訓練を行なう。	園児47名 職員11名 合計58名	園外への避難はスムーズにできたが、園庭から治水公園までの移動での職員配置の確認が不十分だった。また、火災の場合、園舎から出れば安全だということも伝えていく事も大切。	2	水害避難訓練	26日	2階中ホール	水害を想定し、2階中ホールへの避難をする。2歳児クラスへの避難状況を確認する。	園児58名 職員11名 合計69名	5歳児・2歳児の移動はスムーズであった。2階にいた子どもたちも、落ち着いて職員と共に行動できていた。津波と違い、慌てる必要はないので、安全に移動を行なう事が前提である。
9	地震避難訓練	28日	各保育室	昼寝明けの訓練。ホールでは頭を守る。おかしものはなしで、布団で頭を保護しよう伝える。寝ている子は、大人が保護する。	園児49名 職員9名 合計58名	2時45分、午睡明けと同様に地震発生の場合。それぞれ布団に包まり、上半に頭を保護する事ができた。突然の場合にベニツカになることもなく、日常の訓練の様子が重ねができていたと感じた。	3	地震避難訓練 津波避難訓練	19日	協立病院	協立病院の避難訓練に参加し、保育園からの避難経路を職員で行い、避難先での対応を検討する。	園児0名 職員8名 合計8名	避難先では、フロアが狭く、テラスが出されたままなので、早く着いた職員は、フロアを広く使えるように何をすべきかを考え行動する。備品等の保管も検討する。

# 平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人 釧路百葉福祉会  
治水どんぐりの家保育園

## 社会福祉事業

### (1) 総括

今年度より利用定員を60名に下げ、後期はほぼ定員に近い園児数となった。移管時からの願いであった障害児保育・0歳児保育の実施に向け、様々な検討がなされた年であった。障害児保育については、各クラスに支援の必要な園児が多く在籍しているため、保育士を加配し、地域支援相談室や保健師さんと連携しながら関わった事で、次年度の障害児保育実施に繋がった。0歳児保育は、理事会での議論の結果、増築で翌年10月からの実施見込みとなった。子どもや働く職員の立場に立った議論が行なわれ、保育士の士気を高める事に繋がった。また、0歳児保育の開始に合わせ、排水設備・厨房の充実・完全給食の実施に向け、職員で検討できた事は大きな成果であった。職員の処遇では、正規職員の増員が認められ、次年度4クラスの内2クラスに正規職員を配置することが出来る。しかし、同一労働同一賃金を考えた時に、臨時職員と正規職員との格差が歴然とあり、大きな課題である。

### (2) 年間利用者数

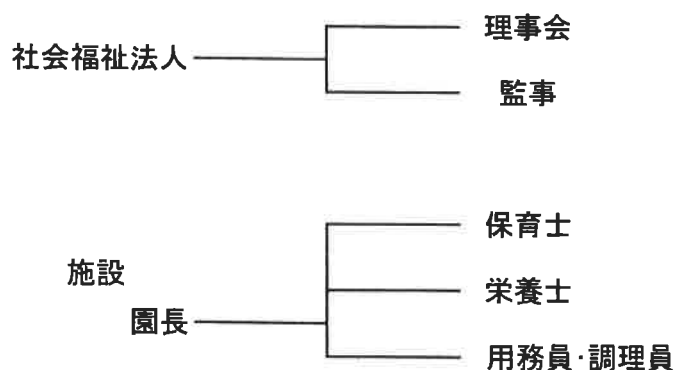
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数	50人	50人	51人	51人	51人	56人
一時保育	27人	29人	39人	49人	36人	37人

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	57人	57人	56人	57人	57人	57人
一時保育	47人	42人	37人	21人	26人	31人

### (3) 職種別職員数

園長	保育士	栄養士	事務員	パート
1人	6人	1人	0人	11人

### (4) 組織体制



### (5) 年間行事報告

別紙のとおり

# 27年度 行事等実施報告書

## 治水どんぐりの家保育園

月	内容	感想	職員研修内容	災害内容	健康管理内容	衛生管理内容	職員会議内容
4月	入園式 みそ作り 保護者懇談会	保護者懇談会では、アンケートの集計結果を報告し、意見を貰った。駐車場の検討をして欲しいという意見があったが、土地が狭く困難である。これからも継続課題である。	わらべうた講習(11名) 経営者研修(北構)	(別紙)	全国児の健康・アレルギーの確認 予防接種実施状況調査 身体測定	救急用品の整備 防災用品確認	定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議
5月	端午の節句 保育参観・給食試食会	平日の保育参観だが、保護者の出席率は高く、親子で遊びを楽しむことが出来た。今年も試食会を行い、栄養士が食についてアドバイスをしない好評であった。	園内研修(BH)		身体測定	環境整備	定例職員会議 2・3歳児カリキュラム会議 給食会議
6月	保育園まつり 春風コンサート 親子ハバダ満足	今年度は、治水で天災剛さんのコンサートが行なわれ、園児もとても楽しく鑑賞できた。隔年ではなく、毎年園で実施できると、2・3歳の子どもたちも楽しみにしていたのではないかと感じた。	保育協議会研修(主任) 絵画指導研修(阿部・吉田) 私保護研修(BH保育士)	歯科検診 園児健診 身体測定			定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議
7月	おとまり会 交通安全教室	天気にも恵まれ、予定通り柳町公園を充分探検しながら、ケアコートひまわりまで歩き、訪問・交流をした。帰りは、バスで送っていただいたので、夜まで体力も持続し、仲間とたのびがりと楽しい時間を過ごすことが出来た。	全道合研(島山・吉田弘) 福祉制度学習会(4名) わらべうた講習(島山・勝山)	身体測定	食中毒の予防		定例職員会議 2・3歳児カリキュラム会議 給食会議
8月	七夕 トランプ演奏会	今年も、流しそらめんを行い、園児全員で楽しめた七夕となった。トランプの演奏は、ご近所の方も楽しみにしており、今年も大人も子どもも楽しめる取り組みとなった。	救命教習講習(石田)	身体測定	食中毒の予防		定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議 運動会実行委員会
9月	運動会	雨のため、青葉小学校での開催となった運動会。保護者の協力もあり、会場準備もスムーズだった。初めての会場だったが、子どもたちはいつもの姿を発揮してくれた。	全国私保護連調査部長研修(北構) 園長・主任研修 救命・教習講習(吉田妃)	身体測定			定例職員会議 2・3歳児カリキュラム会議 給食会議
10月	七五三 食育(年長) 落ち葉拾い・遠足	明日見先生の食育では、謎の解体が恒例であったが、アレルギーマスターの子を配渡し、他の取り組みを行った。クラスみんなで同じ体験をしたものを調理でき、そのクラスならではの取り組みとなった。クラスに依り内容を職員で検討する事が大切だと実感した。	3地区合同園長研修 保育協議会研修(8名) 全道民間研究会(島山・吉田一) 集団づくり(7名) 私保護研修(7名)	身体測定	避難用備品の点検 室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議
11月	焼きも交流 おたのしみ会	子どもたちの心に残る大きな焼き火を囲んでの焼き芋は、環境的に治水では出来ないもので、昭和で交流が出来ることはありがたい。子どもたちからも楽しかったという声がたくさん聞かれた。おたのしみ会は、日常の遊びが活かされ、子ども達の表情も良かった。	防災研修(北構) 全国経営者主任研修(島山) 食物アレルギー研修(吉田一) 発達支援(北構・阿部)	身体測定	ノロウイルスについて処置の確認 室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 2・3歳児カリキュラム会議 給食会議
12月	クリスマス会 劇団風の子公演	今年度は、親子で楽しめるよう、劇団公演を夜に行なった。卒園児も数名参加してくれて、豊かな文化を築き上げていく場となった。楽しい会場ではあったが、内容が素晴らしいし、披露を望まない公演だった。	給食従事者研修(吉田一) 健康体操(10名)	インフルエンザの登園基準提示・予防接種・罹患状況確認 職員健診・腰痛検査	大掃除 室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議
1月	もちつき お正月あそび 交通安全教室 保護者懇談会	石達先生に来てもらい、リズムと歌を一緒に楽しんだ。職員が実際に体で感じ、どのようにリズムや歌を子どもたちに伝えるのかを学べて意義のあるものとなった。	リズムどなた(12名)	身体測定 園児健診	室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 2・3歳児カリキュラム会議 給食会議
2月	一日入学 SI満足	自分たちで作った地図を持ってSI満足に出かけた。地図を見ながら、「地図の中に自分がいる」と嬉しそうに話す子ども。昭和と同日の遠足になったことも嬉しく、交流も出来よよい体験となった。	リズムどなた(12名)	身体測定	室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 4・5歳児カリキュラム会議 給食会議 卒園式実行委員会
3月	ひなまつり 卒園式 お別れ進級会	今年もアソビコロの蛋さんが合唱で応援してくれた。年長児が描いた大きなひまわりと等身大の絵を飾り、たくさんのお見守りの中、子どもたちはいつも以上の力を発揮し、満了した表情であった。		健康状態の引継ぎ 身体測定	大掃除 室内の換気・湿度の管理		定例職員会議 給食会議 新年度に向けての会議

避難訓練計画・実施表

平成27年度

計画			実施			計画			実施				
月	訓練内容	実施日	避難場所	訓練内容	訓練参加者	反省	月	訓練内容	実施日	避難場所	訓練内容	訓練参加者	反省
4月	火災避難訓練 お話し	16日	ホール	お話し、子ども達 に非難の音を 聴く。ホールの 避難の仕方は、 年長にしよう。	園児37名 職員 8名 合計45名	実施したことで お話し、の約束 を理解できたよう ホールでの避難 訓練は年長が、 くじら、その手 本になつていた。	10月	夕方降園時 地震避難訓練	22日	園内	夕方5時に地震 発生。子ども達は 合同保育で過ご している時間帯。 自由あそびと 保育士が少くない 中でどう避難するか 給食室から出火。 調理員が非常ベル を鳴らし初期消火にあ たる。園長が消防へ連 絡指示を出し全 園児が避難。園長が 園内を最終確認する	園児 53名 職員 9名 合計 62名	地震発生と同時に ホールで遊んで いた以上見は中 央に集まる。未滿 児は先生の周りに 集まり避難。人数 確認をする。
5月	火災避難訓練 消火訓練	28日	園庭	以上見は散歩 集まる。火災を想定 してお話し、訓練 のお手本を年長が 見せる。他のクラス は子ラズで出て見学 する。見学後、以上 見で実践する。	園児 27名 職員 9名 合計 38名	年長組にみんなの 前に出てもらい お話し、の約束 を確認してもらう。 確認した事で、 理解し、上手に 行動できていた。	11月	消火訓練 (消防署員立ち合 いのもと)	17日	園内 園庭	朝9時に地震発生。 未滿児は各居室で 以上見はホールと くじら組のお部屋で 遊んでいる。避難を伝える と取音士の下に集まり 園内を最終確認する	園児 69名 職員 24名 合計 93名	園児の避難は スムーズであつ た。園長が点検時 クラスの扉を閉め 忘れ、消防署員 の方から注意を 受ける。
6月	地震避難訓練 通報訓練	25日	園庭 手つなぎ公園 商業高校	以上見は散歩 未滿児は園庭で 遊んでいる時 地震発生、大津波 警報が発令され 商業高校玄関ま で走つて避難する	園児53名 職員 14名 合計67名	園児数が少ない ので、昨年にな べて早く避難でき た。(6分)0秒の 避難も想定した 訓練が課題に なる。	12月	朝、登園時 地震避難訓練	24日 AM 9時	園内ホール	アルソックの方に 不審者が園内に 侵入してきたとき の防御方法について 学ぶ。刺す又の使い 方、非常押しボタ ンの役割も学ぶ。	園児 52名 職員 13名 合計 65名	朝での避難訓練 避難経路の確保 保育の下に集ま るのはスムーズで あつたが、登園児を 含めた人数確認を してはなかった。
7月	地震避難訓練	23日 pm5時	園庭	夕方の保育士の 人数が少ない 時間帯での 地震発生を想定 した訓練を実施 する。夕方もも 訓練を経験する。	園児48名 職員11名 合計59名	夕方なので園庭 で遊んでいたリ、 お部屋で過ごす クラスもある。 1歳児が外に出 るのに手間取る。 入出が必要。	1月	不審者訓練	21日 PM4:30	園内ホール	地震が発生し避難し た後火災が起きる。 火災の連絡を受け 全員つなぎなど冬支 度した後園庭へ 避難する。築山に集 合し人数確認をする	園児 70名 職員 22名 合計 92名	真冬に外へ避難する 事を想定し訓練を 実施する。以上見は スムーズに避難でき たが、0歳児は着替えに 時間がかかるので、他 の職員の助けが必要
8月	火災避難訓練	20日 AM10時 5分	室内 園庭	職員会議で火災 避難訓練やり方を 見直す。各部署 の役割を明確に する。厨房職員が 火災の報告後 火災報知機を押す	園児64名 職員22名 合計86名	火災避難訓練の 動きを新たに作り 直す必要がある。 直3、リすも混乱 なく避難できた。 厨房職員も実践	2月	地震避難訓練 火災避難訓練	18日	園庭	地震発生から 15分で全園児の 避難が完了する。 以上見は0歳児は 避難が遅いが 1、2歳児は時間 差があり、遅れる。	園児 64名 職員 15名 合計 79名	東日本大震災の 日に合わせて地震 の避難訓練を 行う。午睡後すぐ だったのが驚いて いたが、避難はス ムーズだった。
9月	地震避難訓練 大津波警報を 想定した、商業 高校への避難 訓練	10月11日 10時10分	室内 園庭 商業高校	地震発生から 3分後、大津波警報 発令。0歳を含む 全園児を商業 高校へ迅速に 避難させる。	園児67名 職員25名 合計92名		3月	まとめ 地震避難訓練	11日 PM2:46	室内 ホール			